

会津若松・喜多方

(福島県会津若松市、
喜多方市)

注目ポイント！

二次交通整備による流動性向上・キャンペーンとの積極的な協働体制。
歴史的なたたずまいを継承した街並み・まちづくりと郷土料理の魅力。



平成14年より年間観光入込客数約1,600万人以上を継続中。
キャンペーン中の会津全域の観光客数30万人増加！
(H16夏期 476万人 H17夏期 507万人)



会津若松市のシンボル鶴ヶ城

コラム

20数年前、帰郷した地元七日町通りは「シャッター通り」と化し、最悪の状況であった。渋川氏は、なんとか活性化の糸口を探ろうと友人たちと活動を開始し、歴史的建物を保存しながら、城下町らしい特色ある街並みの再生が、賑わいの創出につながると確信。最初は、旧商店街の人々から煙たがられたが、根気強く説得。改修第1号の茶屋「やまでら」を成功させ、事業を軌道に乗せた。

現在は「株式会社まちづくり会津」の代表として活躍し、会津地方の活性化に力を注いでいる。



観光カリスマ
渋川 恵男氏

これまでの経緯

- 昭和62年(1987) 喜多方ラーメンの同業者団体として「老麺会」が発足する。
- 平成3年(1991) 「会津そばトピア会議」が誕生。
- 平成6年(1994) 七日町通りまちなみ協議会を設立する。
- 平成9年(1997) アネッサクラブを設立する。
- 平成10年(1998) 株式会社まちづくり会津を設立する。
- 平成13年(2001) 史跡若松城跡 干飯櫓・南走長屋復元オープン。
まちなか周遊バス「ハイカラさん」の運行を開始する。
- 平成14年(2002) 長期総合計画「会津まちづくり物語」を策定する。
「全国SLサミットin会津」を開催する。
「会津ぐるっとカード」の発売を開始する。

主な取り組み

商店街活性化

七日町通りまちなみ協議会は「大正浪漫調のまちづくり」による観光客誘致を実施。歴史的な建造物を保存した特色ある商店街を目指し、商店主に改修を説得。建物所有者にはテナント入居者の確保、テナント入居者には希望する外観の建物を提供。

また、商店街の婦人による「アネッサクラブ」は、「4つ(茶、荷物、いす、トイレ)のどうぞ運動」等のユニークな活動により、街おこしを牽引。



七日町通り

会津ディステーションキャンペーンの実施

平成17年に行政・観光業者・交通機関が協力し、キャンペーンを展開。飲食店等割引付きカード「会津ぐるっとカード」販売、レトロ風ボンネットバス「ハイカラさん」やSLの運行、各種イベント開催により、会津全域で30万人の観光客が増加。継続的な活動へ。



会津ぐるっとカード

ハイカラさん



蔵の町・喜多方

醸造業が盛んで、「男40にして蔵の一つも建てられないようでは...」という喜多方市、今日でも2,600軒の蔵が残る。昭和40年代、蔵はその役割を終え取り壊されはじめたが、地域有志が保存・移転を開始。観光やビジネスとの連携、研究者との協力、観光案内所への転用等、工夫をこらした保存活動を継続。



蔵の町喜多方

会津地方の食

鯿や鱈の保存食を多く使う会津料理。山椒や山菜を漬けこんだ郷土料理や、観光カリスマ唐橋氏を中心とした会津そばトピア会議の活動により有名となった会津そば等を新たな名物として打ち出している。

喜多方ラーメン目当ての観光客も多く、「老麺会」は、加盟店のマップを作成。



喜多方ラーメン

問い合わせ先

会津若松市観光課

Tel: 0242-39-1251

<http://www.city.aizuwakamatsu.fukushima.jp>

会津若松観光物産協会

Tel: 0242-24-3000

<http://www.aizukanko.com>

喜多方市観光課

Tel: 0241-24-5211

<http://www.city.kitakata.fukushima.jp/8/index.html>

喜多方観光協会

Tel: 0241-24-5200

<http://www.kitakata-kanko.jp>